

令和6年度 活動計画について

はじめに

『ワクワクする佐田づくりのために～』

スサノオの風は、法人設立の原点、「文化」「スポーツ」の振興を図りながら、人口減少が加速する佐田地域の活性化のために地域振興に一層の力を注ぎ、佐田地域民からの信頼をより高め、活動の深化を図って行きたいと考えます。

1 基本方針

ワクワクする佐田を目指して

指定管理施設の利用促進&多機能化

- ★利用者・利用回数の増加を図る⇒集客力のあるイベント開催。軽スポーツ教室の開催。口コミによる参加者募集・チケット販売
- ★施設利用環境の整備⇒接遇の向上、清掃の徹底
空き状況の周知、トイレの洋式化要望
- ★地域拠点機能強化⇒団体事務局、談話スペースの確保、島大サテライトラボラトリー

情報発信量の増加

- ★法人ホームページの充実、SNSの積極的活用
- ★「サダイズム」の投稿者の増員⇒投稿者募集（謝礼有 Tシャツ）
- ★動画のアップ(You Tube ほか)
- ★季刊誌「風のたより」発行(年4回)

持続可能な佐田づくり事業の展開

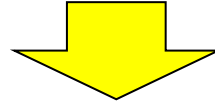
- ★佐田地域づくり協議会（農村 RMO）事務局
- ★「さだ未来ビジョン推進部会」「佐田地域戦略会議」事務局
- ★佐田暮らしサポート事業の展開(おたすけ隊等)
- ★地域づくり関係学習会の開催(佐田がんばる塾)
- ★地域資源を活用したツーリズムの企画・運営

工賃向上に向けた障がい者事業

- ★野菜栽培と cotaba での販売(農福連携)
- ★工賃向上に向けた作業の検討
- ★社員養成と人材確保(管理者候補)
- ★送迎車両の購入(赤い羽根共同募金会助成)
- ★障がい者福祉研修会開催(関係団体と協働)

財源確保に向けた事業展開

- ★地域づくり活動支援寄付金の依頼活動
- ★佐田の地域資源を活用した商品の開発・販売等
コミュニティビジネスの展開
- ★各種助成金への応募
- ★第3種旅行業の事業量増加



地域貢献する存在感ある NPO 法人をめざす

■指定管理施設自主事業(案)

施設名	考え方	事業内容
スサノオホール	<ul style="list-style-type: none"> ◎佐田地域の文化・交流拠点としての機能を高める ◎普段でも来訪者の増員を目指す。 ◎地域拠点の機能を増す ◎施設・設備管理に留意する ◎施設存続 ◎利用者 8000人確保 	<ul style="list-style-type: none"> ★cotaba 5回開催 4/14、6/9、9/8、12/8、3/9 ・ミニステージ ・コタバスの運行 ・コタバでやおや ★こどもフェス 6/29 ★平和を考える展示 7/23~ ★アウトドアシアター8/31 ★ドラムタオ公演 9/28 ★しまね映画祭 10/6 ★展示室の活用 ★文化協会事業への協力 (むらくも座、神楽、民謡) ★その他
スポーツセンター	<ul style="list-style-type: none"> ◎体育館利用者 1万人を目指す 特に佐田町在住者 ◎施設・設備管理に留意する 	<ul style="list-style-type: none"> ★軽スポーツ教室の開催 体育館でサバゲー 9/21 ★高校女子バレーボール大会

2 各部門の事業方針

2-1 本部関係

- ・理事・社員が協働し、法人の使命を具現化させていきます。また、働きやすい職場づくりを心がけていきます。
- ・社員会議や救命講習会等 社員の研鑽に努めます。
- ・助成制度の活用や寄附金など財源確保に努力するとともに、効果的な支出に努めます。
- ・会計、労務管理、PC管理等については専門職へ相談・指導を受けながら対応していきます。
- ・佐田町文化協会、出雲市スポーツ協会佐田支部の事務局を引き続き担当します。なお、スポーツ協会事務局は効果的な事業推進の観点から関係機関と協議を開始します。
- ・出雲市レンタサイクル事業の委託業務を担当します。
- ・「朝日たたら」の管理を継続して行います。

3-1 指定管理施設管理運営

- ・スサノオホール、佐田スポーツセンターは、存続に向け、利用者の増加、多機能化を図り、佐田地域でより必要度の高い施設になるよう努めていきます。
- ・ホールは、空調設備の老朽化により公演時に支障を来すなど、数多くの問題が表出しています。また、1階男子トイレに洋式トイレへ設置など利用者の立場にたった施設改善を今年度も強く要望していきます。
- ・公演中の事故が発生しないように設備点検の徹底、無理な演出、長時間に及ぶ舞台関係者の労働などが発生しないよう留意していきます。
- ・スサノオホールならではの催事開催に努め、出雲市内他ホールとの差別化を図っていきます。
- ・休館日は基本的に社員を配置しない完全休館日とします。(ホール 月曜日、スポセン・文化練習館 毎月第4月曜日)

4-1 文化振興事業

- ・特色ある自主事業を展開していきます(前記「基本方針」に記載のとおり)

5-1 スポーツ振興事業

- ・体育館の利用促進のために、今後自主企画事業を検討し実施していきます。
- ・多目的グラウンドの整備・除草等に心がけ、利用者に心よく使用していただくとともに、事故の発生を予防していきます。

6-1 福祉事業

- ・障がい者就労継続支援施設「やまびこ園」の通所者の増加を図ると共に新しい作業への取組を検討するとともに、工賃の向上に努めていきます。
- ・事業の継続性を図るために人材確保に努めます。
- ・出雲市の介護予防教室を継続して受託します。
- ・高齢者等の居場所づくりを検討します。
- ・「佐田おたすけ隊」が効果的に展開されるよう関係機関との連携を強化します。

7-1 中山間地域振興事業

- ・佐田自治協会の「佐田地域戦略会議」「さだ未来ビジョン推進部会」の事務局を引き

続き担当します。

- 農村RMO形成推進事業「佐田地域づくり協議会」の構成員、事務局を引き続き担当します。今年度は、事業の最終年度となるため、アウトプット(出口)を確立します。
- さだのちいさなマーケット「コタバ」は、気候、他行事等を勘案し、4・6・9・12・3月の5回開催します。
- 橋波地区集落協定の助成を受け、農業体験とキャンプのハイブリッド型農村体験事業「農キャントリアスロン」を昨年度に引き続き実施します。
- 持続可能な地域形成のために各種研修会の開催・参加、自主事業の展開に努めていきます。
- 「風のたより」の発行や、ホームページやフェイスブックなどの情報発信に積極的に取り組みます。また、佐田町内の情報を掲載するサイト「サダイズム」の充実を目指します。
- 八幡原交流施設「結」の活用を図っていきます。
- 島根大学教育学部 作野広和教授との連携を図っていきます。



★9/28(土) 13:30～★

会場:スサノオホール

●チケット発売●

7/7(日)9:00～

S席 6,500円

A席 5,500円

※会員 500円割引